

中川区ICT推進研修会



愛知学区ICT推進委員会

■愛知学区HP立ち上げの経緯

- 2021年 4月 名古屋市ICT推進モデル地域募集に応募
- 5月 学区ICT推進委員会設置
- 6月 推進方法の検討会
- 9月 HP立ち上げ決定(連絡協議会でのデモ)
- 10月 HP基本設計の開始
- WordPressの研修(その他のCMSとの比較)
- 12月 広見学区へヒアリング
- 2022年 1月 ローカルでの構築(ICT委員会でのデモ)
- 2月 サーバー契約
- 3月 連絡協議会でのデモ
- 4月 HP正式リリース(公開)



目的(地域力推進室)

- ICTを活用した地域活動支援モデル事業
地域活動へのICT導入(オンライン会議・電子回覧等)
により自治会活動を**活性化**させる



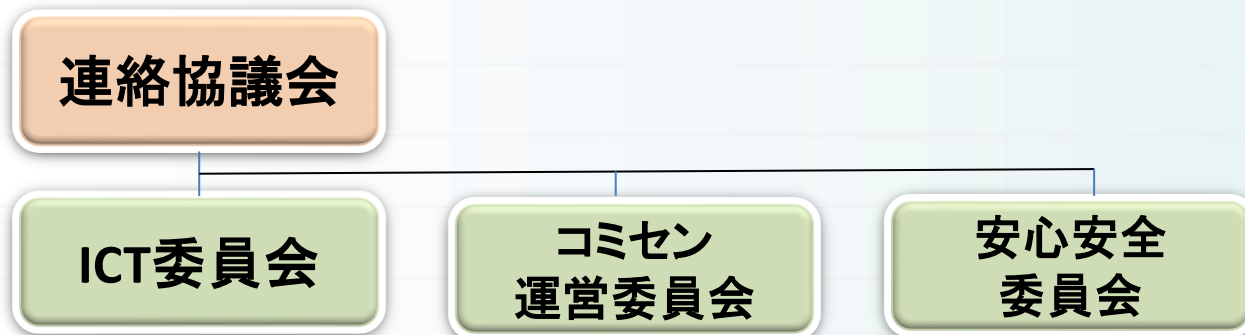
- 情報伝達のスピード化
- 離れた場所での会議の実施
- 資料の閲覧(いつでも・どこでも・誰でも)
- 若年層への浸透・理解度を深める



■委員会設置の意義と役割



学区（連絡協議会）の正式組織（委員会）としての認知



ICT推進の為の現状分析と課題を検討



■学区が直面する問題

- ①学区の活動を知らない人が多い

理由：学区の活動内容を知らせる主たる方法が回覧板と掲示板しかなく、学区そのものへの理解を深めてもらうことができない。

- ②若年層の参加が極めて少ない

理由：現状の方法・環境では仕事を持つ若年層が自治会活動に参加することは大変困難であり、時間に余裕がある高齢者が動かざるを得ない。

- ③役員の引き受け手がいない

理由：役員になると会合・打ち合わせと、各種の催し・行事の準備・運営に関わる時間的・精神的な負担が大きい。



■問題解決の方法として

- ①学区・町内会活動の認知度を上げる

学区ホームページと電子回覧板を用いることで場所・時間を問わず学区情報の伝達・取得が可能となる。

- ②若年層の参加を増やす

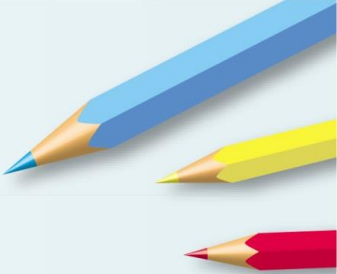
学区情報を発信するプラットフォームとして学区ホームページを開設する。
若年層への連絡手段として回覧板を電子化することで確実に情報を届ける。

- ③ 役員を引き受けやすくする

会議・会合をオンライン会議で行い、場所を選ばず柔軟に参加できる機会を
広げる。

回覧板を電子化することで配布・管理の手間をなくして役員の負担を減らす。





■導入計画

- Step①「学区ホームページの開設」

学区の情報・連絡を住民・町内会・各種団体すべてに伝達できる手段として学区ホームページを開設し、整備する。

学区ホームページを通して連絡協議会・各種団体がどのような活動をしているかを発信して活動内容を知ってもらい学区活動に参加しやすい環境を作る。

- Step②「学区活動にICT導入の促進」

住民への情報提供手段として学区ホームページをプラットフォームとした電子回覧板などを開設して現行の町内回覧板も併用して双方の利便性を最大に生かしていく。

将来のICT導入を見越して、その準備としてスマホ教室など、学区住民がウェブを体験使用できる機会を増やしていく。

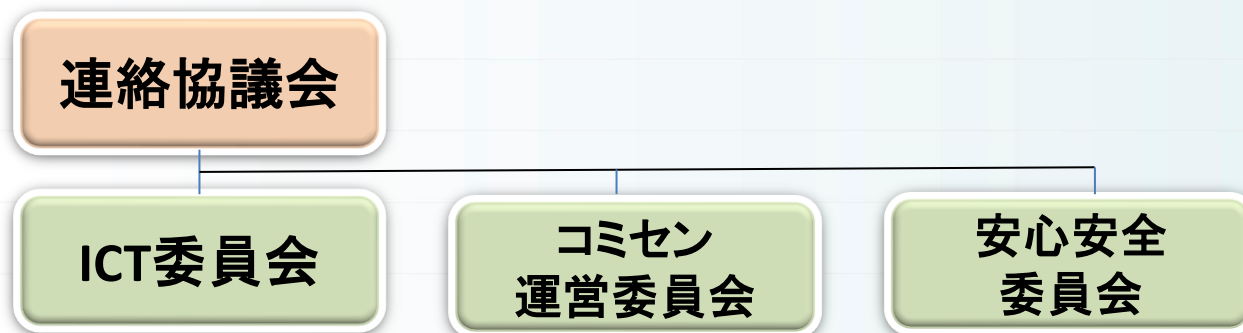


■HP(ポータルサイト)のイメージ



■委員会設置の意義と役割

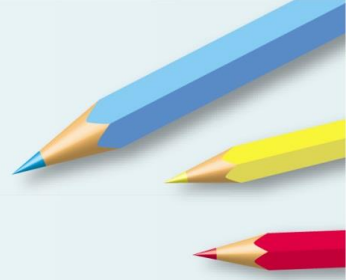
学区（連絡協議会）の正式組織（委員会）としての認知



連絡協議会を代表してHP作りをする組織として活動
HP作りへの協力体制の確立



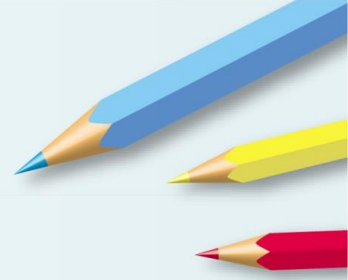
■HP設計



- HP設計書(提案書・イメージ・ツールの選定)
- トップページ
 - サイトの顔・イメージ(色調)・デザインコンセプト
- サイトマップ
 - サイト全体の姿・アクセスメニュー・階層
- ワイヤースケッチ
 - ページ構成内容・汎用ワイヤースケッチ設計
 - レスポンス対応
- ロードマップ
 - 順序・工程管理・ユーザー導線の検証



■HPの役割と期待される効果(1)



1. 情報提供サービス

- ・誰でも簡単に学区(地域)のイベント、ニュース、各種サービス、連絡先などの情報を一元管理し、アクセスできる
- ・連絡協議会の活性化と活動の周知と理解が得られ活動が幅広く認知される
区政委員会と各種団体とのコミュニケーションの活性化と強化、一体感が生まれる
コミュニケーションが円滑になりメンバー同士の交流が活発化する
- ・地域活動に関心を持つ人を引き寄せる手段となり、コミュニティの成長と人材確保の支援と成り得る
- ・精緻に管理運営された組織としての信頼性の向上やプロフェッショナリズムを高める
プロフェッショナリズム=ボランティアのプロ

2. ICT化推進

- ・平易な投稿発信手段を提供する事で投稿のハードルを下げ迅速で積極的な投稿に繋げる事が出来る(Word PDF PowerPointなどの使い慣れたツールで発信)

■HPの役割と期待される効果(2)



3. 災害時の対応

- ・情報を常に掲示する事で、有事に役立つ備えをする

4. 学区(地域)への貢献

- ・学区の問題点についての情報提供や啓発ができ地域への貢献ができる
- ・情報発信と共有により、各種プロジェクトやイベントなどに多くの支援や参加が得られる

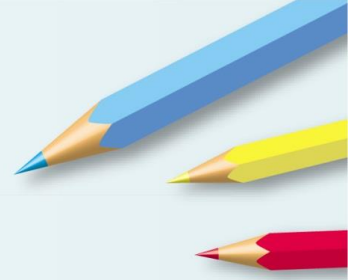
5. 電子掲示板の活用

- ・情報の長期保存や、過去の情報やイベント情報などにアクセスできる
- ・いつでもだれでもアクセスできる

6. Web化によるコミセン利用の効率化

- ・予約システムの導入により管理が一元化され省力化に繋がった
- ・利用実績の集計
- ・スマートキーボックスの導入(鍵管理が容易・使用履歴記録)

■HPの役割と期待される効果(3)



- HPを作る事を目標にするのではなく、活用する事を目標とする
HPを作っただけでは効果は期待出来ない
効果的に運用活用することで効果が得られる
活用の為のツールを作ると考え利用する
- 有効性・利便性を実感させる
ユーザーに役立つ情報提供
学区内ユーザーに特化したサイト(地域ポータルとしての位置づけ)
- 学区全体のバックアップ・支援が不可欠
各種団体やその他の地域コミュニティの支援

■HPの運営活動



1. 更新作業

- ・更新実績/月
（投稿ページ） 5～8件
（電子回覧板） 10～20件

2. HP編集者・投稿者の確保と養成

- ・管理者2名 編集者3名 投稿者8名で運営
- ・（編集者）勉強会の実施（WP・Canva）
- ・（投稿者）パソコン研修の実施（Word・PP）

3. 訪問者（アクセス数）の拡充

- ・HPの情宣（各種サロンや[イベント会場でのPR](#)、[電子回覧板](#)QRコード）
- ・スマホの研修会の実施（QRコード・LINE・Mail）
- ・外部リンクの依頼

■学区内イベント活動

1. ICT委員会として積極参加(ブース設置でHPの情宣) 各種サロンやイベント会場でのPR、QRコード、電子回覧板の説明



秋の大祭 in 愛知神明社

スマホを持って集まれ！
“愛知学区 ICT ブース”で景品をGETしよう

日 付	午 前	午 後
10月 8日(日)	10時 - 12時	13時 - 15時
10月 9日(祝日)	10時 - 12時	

<各時間帯 先着50名様に 景品を進呈>

愛知学区 ICT 推進委員会のブースを設置します。

当日、スマホで愛知学区 HP 内の「コミュニティの最新情報」にアクセスし、「秋の大祭 QR プレゼント」画面にある QRコードをカメラで読み込んで、その開いたページを提示した方に、景品を進呈します。

やり方が分からない方はお教えします。スマホを持ってブースに来てください。その場でページを提示しましょう！

皆さんの参加をお待ちしています。



■電子回覧板の普及活動



電子回覧板のQRコードを配布(回覧板に添付)

電子回覧板について

下のQRコードを読み取ることで
愛知学区HP（ホームページ）の電子回覧板にアクセスできます。

愛知学区電子回覧板QRコード



このQRコードで表示された「電子回覧板」のページを
スマホやパソコンの
「ホーム画面に追加」や
「お気に入りページ」に追加することですぐにアクセスできます。
注）毎月第3週目から新規回覧板にアクセスすることができます

愛知学区 HP

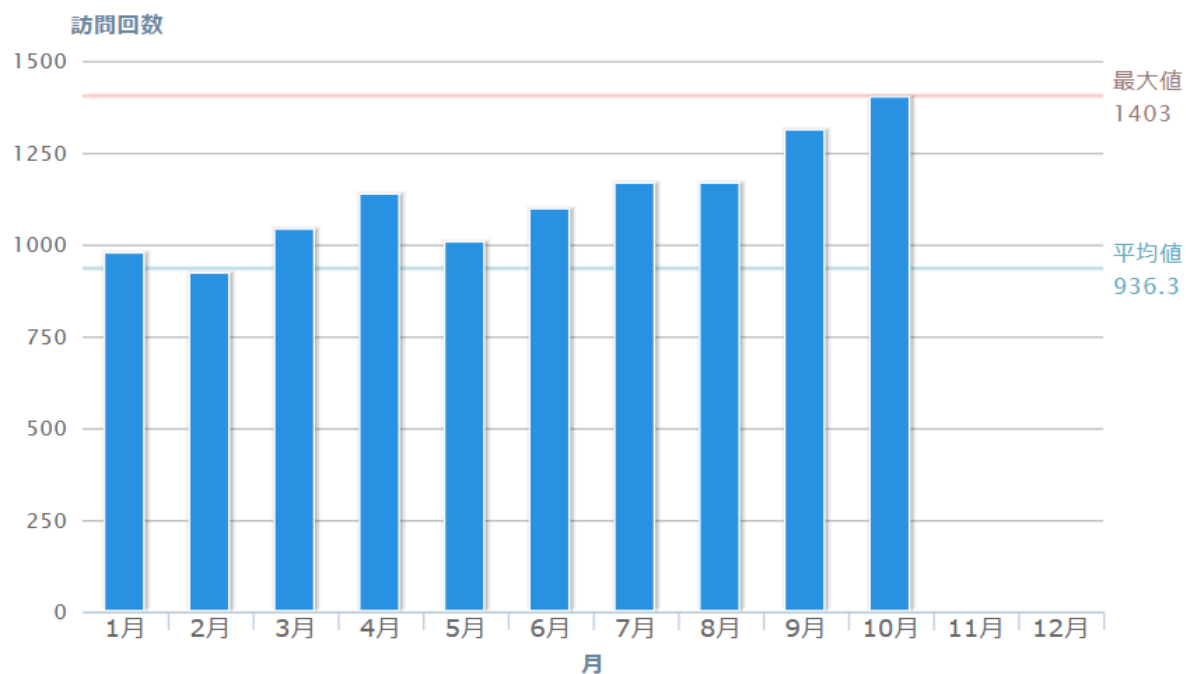


■その他の普及活動

1. QRコード・アイキャッチ・ロゴでの 情宣活動



■HPアクセス数の推移(先月まで)



■アクセスログ解析(先月まで)



訪問者数 ?

937

訪問回数 ?

1403

ページビュー ?

13158

平均ページビュー

9.38

ヒット数 ?

65199

平均ヒット数

46.47

転送量(MB) ?

10456

平均転送量(MB)

7.45

■HPアクセス者からの声(1)



- これまで回覧板に目を通した事が無かったが電子回覧板を知って様々な情報が在る事に驚きました。今後は知らない間に回覧板がスルーされても大丈夫です。(50代男性)
- 子供会が無いのに様々なイベントを企画していただき感謝しています。親世代が何もしていない罪悪感を感じています。(40代女性)
- おしゃべりサロンの様子がHPで公開されて、東京にいる娘家族から「おばーちゃんの元気な様子がみれて安心しました」との反響が有りました。(80代女性)
- スマホは持っているだけでほとんど使った事が無かったが、学区のHPを見る楽しみが増えました。(80代男性)

■HPアクセス者からの声(2)



- 神社のイベントに参加して学区のHPが有る事を知りました。これから大いに参考になります。(40代男性)
- スマホの「LINE」の使い方が分からなかったが、教えてもらって良かった。無料通話で友達や家族との会話が増えそうです。(80代女性)
- HPを見て学区にこんなにも沢山の組織が有ってほとんどがボランティアでの活動と知って自分も退職したら何らかのお手伝いがしたいと思いました(60代男性)



■人材(HP管理・運営)確保

- HP製作の為の必要スキル

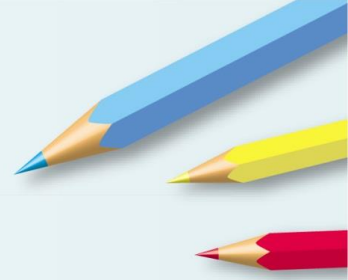
- ①スマホを使っている(簡単スマホはNG)
- ②PCを持っている(ネット検索とYouTubeが使える)
- ③PowerPointでプレゼンテーションが作れる
- ④画像の加工・編集ができる



- 興味を持つ人との交流を図る
- 地域のITに携わる人の発掘(IT企業のみではない)
- HP製作のアピールを行う
- ツール(PC・タブレット・ネット環境)の支援
- 継続的な運営資金の確保



■HP立上げの障壁と課題



1. コスト

サーバー代、ドメイン登録代、開発コスト
(有料ソフト代・外部委託)

2. 時間

公開まで時間がかかる 基本設計～構築～公開

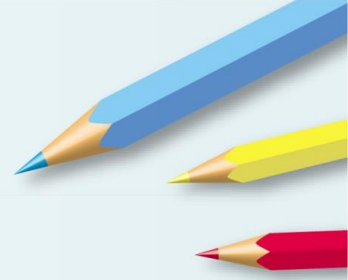
3. スキル

CMSの(WordPress等)の技術の壁

4. プライバシーとセキュリティの確保

個人情報保護と情報セキュリティ
(サイトの安全な運用)の確保

■HP立上げの障壁と課題



5. 公開後の維持管理

公開が目的ではない。
定期的な更新が必要

6. 過度の期待と依存

期待通りの結果(成果)が出ない場合の失望と
モチベーションの低下

せっかく苦勞して作ったが関心が集まらない。

新規コンテンツの開発ができない

思った成果が表れない→カタログHP化→サイトの信頼性低下

7. 運用管理の人材確保

8. LINE公式アカウントの導入やSNSとの連携

■HP立上げの障壁と課題

9. 他のHP(他学区)を参考にする 真似る
10. 最低2人以上で遂行する 一人で悩まない
11. 最初から100点を目指さない
HPも人も成長させていく
拡張性のあるサイト作りを目指す

次はあなたの学区の番です

一緒に頑張りましょう

Email:aichigakku@gmail.com

